



1958年12月1日創立 国際ロータリー 第2730地区

鹿児島南ロータリークラブ

2025-2026年度 国際ロータリーメッセージ

「よいことのために手を取りあおう」「居心地の良いクラブとは」

2025-2026年度 クラブのスローガン 「奉仕の理想を、みんなで分かちあおう」

姉妹クラブ: 台湾高雄東 RC 友好クラブ: フィンランド ロヴァニエミ・サンタクロース RC ドイツ カールシュタット・アルンシュタイン RC 宮城県多賀市 多賀町 RC

会長: 澤野 正幸 会長エレクト: 杉原 浩 会長ノミニー: 幹事: 福山 智子

2025-2026年度 RI会長 フランチェスコ・アレツツオ

2025-2026年度 RI第2730地区ガバナー 西本幸則

疾 病 予 防 と 治 療 月 間

市内グループガバナー補佐 A: 川原嘉裕(鹿児島令和RC) B: 田中和俊(鹿児島中央RC)

週報

Vol.68 No.15

令和7年(2025年)

12月 17日

【事務所】

Tel: 090-0062 鹿児島市与次郎1丁目8-10

TEL: 099(254)1117 FAX: 099(254)1119

E-mail: south-rc@po.minc.ne.jp

【例会日】毎週水曜日 12:30~13:30

【例会場】サンロイヤルホテル



【第3150回例会】クリスマス家族会

令和7年12月10日 第3149回例会

[点鐘] [ロータリーソング] 我らの生業

[四つのテスト唱和] 能勢会員

[ゲスト・ビジター紹介] 川原ガバナー補佐

会長の時間

皆さま、こんにちは。本日も例会にご出席いただき、ありがとうございます。

お昼の例会として本日は、今年（2025年）最後ではあります、川原ガバナー補佐にご出席いただきました。会長幹事会やその他の会合でも、当クラブをいつも気にかけいただき、お声掛けをしていただくこと、誠にありがとうございます。

さて、12月のロータリー特別月間は「疾病予防と治療月間」でございます。「病気にならないように事前に予防すること、そして万が一病気になっても、適切な治療を受けられる環境を整えること」どちらも、人々の暮らしを守るために欠かせないテーマであり、国際ロータリーが長く取り組んできた大切な奉仕の柱です。しかし、世界に目を通すと医療へのアクセスが十分でない地域や、支援を必要としている人々がまだまだ多くいます。この月間を通して、そんなロータリーの原点をもう一度、皆さまとご共有できればと思います。

世界に目を向けましたが、来年1月21日には、姉妹クラブである高雄東ロータリークラブの創立65周年記念式典が台湾で開催されます。コロナ禍で一時的に途絶えかけた期間を経て、再び直接、交流できる機会です。私も含めて会員の代表が参列し、皆さまの思いもしっかりとお届けてまいります。

なお、今回の台湾の参列に際し、会員の皆さまから下期の会費と一緒に一人5,000円の徴収をさせていただきました。理事会でもご承認を頂き温かいご理解とご協力に、心より感謝申し上げます。

当クラブは、非常に厳しい予算の中ではありますが、長年の友情を育んできた姉妹クラブの皆さまへ、お祝いのお気持ちを何としても届けたいので、このような形で捻出することご容赦ください。直接、式典にご訪問しない会員も含めて全ての皆さまにご負担をいただくことにさまざまご意見が当然あるかと思います。しかし、代表する会員は、自らのお金と時間を割いて異国まで赴き、そして姉妹クラブの記念式典に出席し、クラブ全体の代表としてお祝いをお渡してまいります。高雄東ロータリークラブとの友情をさらに深め、今後の交流につながるようしっかりと務

めてまいりますので、何卒全員のご協力をよろしくお願ひいたします。

皆さまの温かいお気持ちにも感謝し、本日の会長挨拶とさせていただきます。本日もどうぞよろしくお願ひいたします。

会務報告

①クリスマス家族会のオークションの品物については、15日月曜日までにはお願いします。

②例会終了後、第6回定例理事会を開催致しますので理事役員はお集まりください。

スマイル報告

○澤野正幸君 川原ガバナー補佐、当クラブを訪問していただきありがとうございます。本日は2025年今年最後のお昼の例会です。社会奉仕活動について“クラブフォーラム”です。活発な意見交換をよろしくお願いします。

○杉原浩君 愛犬すず丸君（黒豆柴・男子）が5歳になりました。生後2ヶ月で我が家の一員となり、5ヶ月目から毎日1時間程、天気の良い日はもちろんですが、雨の日も一緒にウォーキングを楽しんでいます。犬友もたくさんできました。

小計 2,000円 累計 210,000円



12月号 私のイチ押し！ 軸屋 忍会員

国際ロータリー会長は「世界でほぼ7人に1人が何らかの精神疾患を患っている。うつ病などに苦しむ人々が適切な治療を受けられるように支援しよう」。特集の

ロータリー談義は、3人の方がロータリー人生を振り返り、わかりやすく活動の意義を説く。「参加して良かったボリオ根絶活動」は各クラブのエピソードを掲載。ロータリー歌壇から1首、「一業種一会員制だったころ 職業背負い胸張っていた」。

